

2023年1月3日

関係各位

社会福祉法人 中心会
理事長 浦野 正男
中心荘第一・第二老人ホーム
所長 三浦 正光

中心荘第一・第二老人ホームの
職員の新型コロナウイルス感染について
(B-10)

昨2日(月)、中心荘第一・第二老人ホームの職員1名(第一老人ホームに配属)が、医師により新型コロナウイルスの「みなし陽性」と診断されました。

この職員については、本人に先行して同居者が12月30日(金)に発熱、31日(土)に医師の診察・検査を受けて新型コロナウイルスに感染していることが確認されました。

中心荘第一・第二老人ホームでは、当該職員の同居者の発熱の一報を受けてただちに当該職員を退勤させるとともに、当該職員及び同居者のPCR検査の検体を採取、検査機関へ送付しましたが、31日(金)に検査機関から到着した検査結果では、同居者は陽性、当該職員は陰性でした。

しかし、感染者との同居が継続される中で、当該職員に1日(日)夜に喉の違和感が、2日(月)朝には発熱が見られ、医師の診察を受けて「みなし陽性」と診断されたものです。

以上の経緯から、当該職員は、30日(金)の退勤前には未感染であったと推定され、したがって、施設内への感染の伝播はなかったものと考えられます。

皆様にはご心配をおかけし、誠に申し訳なく存じますが、全力を挙げて感染拡大の防止に努めていますので、引き続きご理解、ご協力をお願いします。

[補足] この感染事例は、別報(B-8)及びその続報でお知らせしている第二老人ホームの感染事例、別報(B-9)でお知らせした第一老人ホームとの関連はありません。